



貝原大和の福山市議会レポート

2025年
Vol.01

頑張る人が報われる福山！

2024年5月1日より、福山市議会議員の立場をいただきました。政党に所属せず、特定の団体の支援を受けず、誰かの地盤を受け継がず、市民目線とビジネス目線を大切に、議会活動に邁進してまいります。政治を身近に感じていただくことを大きなテーマに掲げ、行政の動きや議会の状況をHP、Facebook、Instagram、X(旧Twitter)などを活用して情報発信いたします。問い合わせは365日対応しております。いつでもご連絡ください。

行政報告

福山市より2025年度（令和7年度）の予算が発表されました。テーマは「安心と希望のための挑戦予算～地域の創生に向けて～」。福山市は地域の活力を維持し、誰もが安心して暮らせるまちを目指し、大胆な挑戦を続けます。予算規模は過去最大の約1,998億3,000万円。特に子育て支援の強化、デジタル化の推進、地域の拠点づくりに重点を置いています。

子育て支援の充実の前進

「福山ネウボラ」をさらに強化し、妊娠期から子育て期まで一貫した支援を拡充。ネウボラセンターを開設し、ワンストップ窓口で保育や教育の手続きを簡素化。第2子以降の保育料無償化や給食費負担の軽減も進め、経済的な支援策を強化します。さらに多目的スペースや交流拠点を整備し、学習支援や自主活動の場を提供。放課後児童クラブの受け入れも拡大し、共働き家庭を支えます。



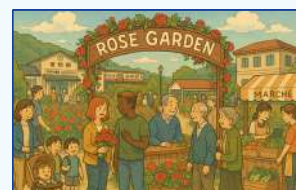
デジタル化の加速

市役所の窓口手続きがオンライン完結し、予防接種券の申請や就学援助費の手続きもスマホで可能に。AIチャットボット導入で24時間対応し、公共施設の予約効率も向上。高齢者の皆様に向けては、スマホ購入支援や講習会を実施し、情報格差の解消にも取り組みます。すべての市民の皆様がデジタルの恩恵を受け、より便利で暮らしやすい未来へ進みます。



地域の拠点づくりの推進

神辺駅・松永駅周辺を整備しにぎわいを創出。旧小学校跡地を活用した交流拠点の整備も計画されています。また2025年は「世界バラ会議福山大会」開催の年。市内にはローズガーデンやマルシェが登場し、国内外の観光客を迎えます。ばらのまち福山の魅力を最大限に発信し、国際都市への飛躍を目指します。



安心・安全な都市基盤整備の向上

学校体育館の空調整備や遠隔監視システムの導入を進め、防災力を強化します。高齢者の皆様の移動支援として、バス・タクシーのおでかけ乗車券の交付やオンデマンド乗合タクシーの導入も推進。福山市民病院の機能強化や周産期母子医療センターの設立で医療体制も充実。より安心して暮らせるまちを目指し、福山市はこれからも挑戦を続けます。





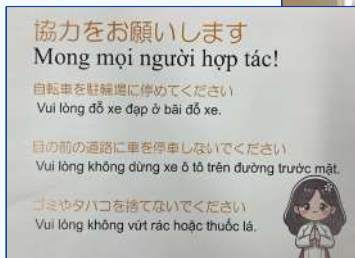
備後圏域議員の集い

笠岡市議会議員のまなべ陽子さんとともに、井原市、尾道市、笠岡市、竹原市、三原市、福山市の市議会議員による意見交換会を開催しました。議会ごとの違いや一般質問、議会だより、地域課題など多岐にわたる議論で盛り上がり、2時間があっという間に終了。今後は半年に一度のペースで開催し、備後圏域での政策提言を目指して連携を強化します。



外国人を含む地域課題に関する改善の取り組み

福山市には約 12,000 人の外国人が暮らし、そのうち約 3,500 人はベトナム出身の方々。福山駅前のベトナム人経営のお店では、文化やマナーの違いから一部課題が指摘されていました。現在、行政や警察と連携し、改善に取り組んでいます。あわせて、ベトナム人経営者の了承を得て、店頭と駐輪場に注意喚起の POP を作成・設置。お客様への周知も進めており、今後も丁寧な対話を重ねながら対応を続けてまいります。



他自治体の議会や委員会見学



府中市、笠岡市、東広島市の議会や委員会を傍聴しました。それぞれの議会では運営方法に違いがあり、例えば一般質問の際、行政側の答弁時間が議員の持ち時間に含まれない仕組みや、プレゼン時にスクリーンを使用できる議会もありました。特に東広島市では、傍聴者へのタブレットの貸出、委員会を別日に開催する方式、即日のアーカイブ配信など、開かれた議会を目指す工夫が随所に見られ、大変学びの多い時間となりました。

部活動の地域移行に関する国の動向を学ぶ

少子化や教員の働き方改革を背景に、国が進める部活動の地域移行について、制度の経緯や今後の展望を学びました。今後 10 年で中学生が約 2 割減少する見通しの中、学校単位での部活動運営は困難になるとされ、地域を主体とした新たな体制づくりが求められています。指導者の確保や住民の理解促進など、地域との連携強化が重要です。



中核市サミット 2024in 秋田



秋田市で開催された中核市サミット 2024 に参加しました。「これからをつくる、これからの生きる」をテーマに、全国の中核市が集い、再エネ投資や洋上風力の導入、文化芸術を活用したまちづくりの可能性などを学びました。都市規模の近い自治体同士だからこそ、実践的で参考になる事例が多く、特にカーボンニュートラル実現に向けた自治体の役割や、地域文化が人材育成やにぎわい創出に貢献する視点が印象に残りました。

中国地区若手議員研修 @ 下関市

下関市で開催された「中国若手議員の会」主催の研修会に参加しました。中国 5 県の若手議員 (45 歳まで) が集い、財政健全化や子育て支援、施設運営などの事例を視察しました。平成 30 年度から 5 年間で 91 の事業見直しを断行し、累積で 43 億円もの財政効果を上げた下関市の大胆な事業見直しは、限られた財源の中で実効性ある政策を実現するための「選択と集中」の重要性を認識させられるものでした。



編集後記

初めての議会レポートを作成しました。振り返れば、福山市議会議員としての歩みが始まってからの毎日は、新しい学びと挑戦の連続でした。私は「頑張る人が報われる福山」を実現するため、市民の皆さんの声を届け、地域の課題に真正面から向き合うことを信念に活動しています。このレポートを通じて、私の活動や市政の現状に少しでも関心を持っていただければ幸いです。まだまだ未熟な点もありますが、初心を忘れず、誠実に、情熱をもって邁進してまいります。今後ともご意見・ご支援をよろしくお願いいたします！



大和くん

貝原 大和 (かいはら やまと)

1986 年 (昭和 61 年) 8 月に福山市横尾町で生まれた 38 歳。
千田小学校、幸千中学校、誠之館高等学校、北九州市立大学を卒業。2009 年に株式会社ベンチャーバンク (東京都) へ就職し、その 3 年後 (25 歳) に起業独立し、現在 14 年目。地元福山にて活動したいという想いから、2017 年に会社ごと帰福。
2024 年 4 月 7 日の福山市議会議員選挙にて初当選させていただきました。

ホームページ



(主な肩書き)

福山市議会議員 / 合同会社 StrAction 代表社員兼 CEO / 株式会社株式会社 MeaningFull 代表取締役社長
福山駅前商店会 副会長 / 投票酒場シンポジオン 代表 / 福山サンプラザ代表 / 福山青年会議所

〒720-0066 広島県三之丸町 8-9 2 階
080-4261-0428 (事務所携帯)
kaihara@genkiup.asia